



GFT

Kathy Lien,
Director of Currency Research

gftforex.com
One World Financial Center, 200 Liberty Street
22nd floor, New York, NY 10281

BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 02.14.12
(2012年2月15日発行)

EUR: パパデモス首相の最後のチャンス

欧州危機という問題が存在する限り、EUR/USDの一本調子な上昇は期待できそうにない。今日EUR/USDは一時1.3080の安値まで下落した。今週初ギリシャのパパデモス首相は財政緊縮法案の議会通過に胸をなでおろしたが、救済資金支払の鍵を握るユーロ圏財務相会合(ユーログループ)に対する十分な説明を怠り、救済の確約を得られなかった。仮にユーログループが緊縮策の承認を拒絶し、救済資金が支払われなければ、ギリシャはデフォルトする。ユーログループは水曜日に会合を開催し、ギリシャに対する第二次救済パッケージを協議承認する予定だったが、同国から十分な資料の提出がないことを理由に、急きょ会合を中止し、これを電話会談に切り替えた。2月20日に定例会合を控えるユーログループにとって水曜日の会合の目的は、財政緊縮策の全容を精査し、月曜日に向けての下準備を完了することにあつた。今回その会合が電話会談になったことで、もはや来週の定例会合にギリシャ救済資金の支払に関する進展または決定を期待することはできない。ユーロ圏財務相会合はこれまで、4月総選挙の結果に拘わらず財政緊縮策が履行されることの確約を、ギリシャ連立与党の党首たちに求めてきた。また本年度の財政赤字額3億2500万ユーロの捻出も課していた。もちろん望みが完全に失われた訳ではない。パパデモス首相が連立与党党首を説得し、財政緊縮策の履行を確約する書面を署名提出することである。ただし時間の余裕はない。ユーロ圏当局者が急きょ態度を軟化させ、ギリシャに対する寛大な決定を行わない限り、3月20日までに救済資金が支払われない可能性は決して低くない。デフォルトの可能性の再燃はEUR/USDに重くのしかかりつつある。事態の急速な進展が見られない限り、今週中にもEUR/USDは1.30近辺で取引されることになるだろう。

ドイツ2月のZEW景況感指数が前月の-21.6から+5.4へと大幅に改善したことで、投資家の信頼は劇的に改善した。ギリシャ問題の煙りにもかかわらず、予想を上回る経済指標の発表、信用市場の安定化、株価の上昇などを背景に、信頼感指数は10カ月来の水準に上昇した。しかし12月にはユーロ圏鉱工業生産が急落しているため、信頼感の改善は一時的なものとなるかもしれない。水曜日にはドイツ、フランス、イタリアでGDPが発表される。何れも成長の減速が予想され、欧州のリセッション入りに対する懸念が再燃する可能性は高い。

USD: 消費支出が低迷、FEDは低金利政策の維持を確認

発表された消費支出が予想を下回ったものの、米ドルはすべての主要通貨に対して上昇した。1月の小売売上高は0.4%と、大方の予想0.8%を大幅に下回った。相変わらず高い失業率と景気回復の鈍さを背景に、消費者の財布の紐は固かった。ホリデーシーズンを含む12月の売上高は前月比フラットで、このため第4四半期の消費支出は第3四半期を大幅に下回ることになる。ただし中身を精査すれば数値ほどに状況は悪くはなく、ここに今日米ドルが堅調推移した理由を見つけることができる。不調だった自動車販売を除けば、小売売上高は0.7%上昇したが、これはほぼ1年来の高水準である。自動車以外の消費の好調は好いニュースである。ただし前月の同数値が0.3%下方修正されたことを考慮すれば、過信は禁物だ。表現を変えれば、今朝発表された小売売上高をどう解釈しようとも、消費需要の低迷という現実是不変である。今日のデータは逃避先としての米ドルの魅力を一掃するほど弱くはなかったが、同時に、投資家のリスク選好を完全に復活させるほど強くもなかった。水曜日にFRBは直近の金融政策委員会の議事録を公表する。FRBが異常な低金利政策の期限を2014年度末まで延長したことは、市場の記憶に新しい。同時に発表された金利見通しでは、大半のFOMC委員が向こう3年間の利上げを想定しなかった。投資家はFEDがますます超緩和姿勢に傾倒することを当然視している。もし景気に対する楽観論が幾らかでも伺われれば、ドルの上昇は加速するだろう。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp ©2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 版權/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。C008J.006.011212